



Institute of Labor Education & Culture

通信No.23

2009年1月5日

編集・発行：社団法人教育文化協会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 総評会館内

tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <http://www.rengo-ilec.or.jp>

発行責任者：山本幸司専務理事

新年のご挨拶

理事長 草野 忠義

明けまして おめでとう ございます

旧年中は皆様方に大変お世話になり有難うございました。お蔭様で教育文化協会として課題を抱えつつも何とか順調に業務を遂行できたものと考えております。重ねて御礼申し上げる次第であります。

今年の十干十二支は「己丑（つちのとうし・きちゅう）」であります。「丑」は元々は「紐・ちゅう」とされ「ひも」「からむ」の意味を持っていたそうであります。芽が種子の中に生まれて、しかしまだ伸びることが出来ない状態を表しているのだそうです。そういった意味では、これからの成長、発展を期待できそうな感も致しますが、現実はどうもそうは行きそうもない状況だと思えます。むしろ、大変暗い気持ちで新年を迎えざるを得ない事態に追い込まれていると言っても過言ではありません。

「百年に一度の大金融危機」と言われておりますが、既に実体経済にもその大波は容赦なく襲い掛かっており、企業倒産件数も5年ぶりの高水準を記録するのは確実だと言われております。加えて、雇用問題は深刻の度合いをますます強めており、生活不安、社会不安に向かわざるを得ないと覚悟をしなければならぬような極めて厳しい現実に向き合っております。このような時こそ、政治の役割、責任は極めて大きなものがあるにも拘らず、何ら実効ある政策が打たれておりません。海の向こうでは、まだ政権についていないとは言え、「チェンジ」のスローガンの下、ヴィジョンを明らかにし、大胆な政策を抱えた若き大統領が誕生しようとしております。「政局より政策を！」と私たちは強く訴えてまいりましたが、わが国の政治、とくにそのリーダーシップはどうなっているのでしょうか。

一方、経営側に目を転じて、雇用を守るという経営責任を果たすどころか、真っ先に雇用に手を付ける企業が陸續として出てきております。経営者はよく「コンプライアンス」という言葉を口に致しますが、コンプライアンスを辞書で引いてみますと「（申し出・要求・希望などに）従うこと。（人の願いなどを快くいれる）人のよさ、親切」（研究社・NEW ENGLISH-JAPANESE DICTIONARY）となっております。すなわち単に法律を守ればそれでよし、という意味ではありません。まさに経営責任をしっかりと果たすということでもあります。雇用を守ることは言うに及ばず、現下の経済、景気を回復させ、安定成長軌道に乗せていくためにも経営が果たさなければならない課題は多くあることを強く指摘しておきたいと考えます。

このような状況の中で、教育文化協会としては教育・出版・文化などの各分野で一層の努力を傾注してまいり所存であります。倍旧の皆様方のご指導、ご支援をお願い申し上げ、新年のご挨拶と致します。

将来の労働運動のリーダーを育成

Rengoアカデミー・第8回マスターコースが開講



草野忠義・教育文化協会理事長



古賀伸明・連合事務局長

Rengoアカデミー・第8回マスターコース(前期)が11月22～27日の日程で開講し、当協会の会員組織から25名が受講しました。

本コースは、将来の労働運動のリーダー育成を目的に、講師陣には一流の研究者を配置し、ゼミナールを必須とするなど、徹底して労働運動とそれに関連した知識の習得等をはかる合宿形式の研修です。第1回は2001年5月に開講、これまでの受講生は200名にのぼります。

初日の開講式では、主催者代表として、草野忠義理事長より「本コースは今回で8回目、労働運動のリーダーを着実に輩出している。みなさんもさらに成長し、活躍していただきたい」と受講生にエールを送りました。

続いて、来賓挨拶がおこなわれ、古賀伸明・連合事務局長は「本コースで討議を重ね、次のステージの労働運動を皆で考えていただきたい」と呼びかけました。

最後に、受講生を代表して電機連合・宇田川さんが「いまの労働運動において不足していると思われるコミュニケーション力をしっかりと身につけたい」と決意を述べました。



電機連合・宇田川早苗さん



第8回マスターコース受講生の皆さん

第8回マスターコース（前期）プログラム

前期の講義は、連合古賀事務局長による「ニュー連合の役割・行動Ⅰ－自分の役割・行動」を皮切りに、右記のプログラムで進められました。

各講義では、ゼミごとのグループディスカッションと発表を組み入れながら、全体で活発な討議・意見交換をおこないました。

また、懇親会やゼミナール等を通じて、通常の研修では実現できない「人間関係」づくりと率直な意見交換・情報交換もおこなわれました。

後期は4月と5月に開講、受講生は7月までに修了論文を作成し、8月の修了式を迎えることになります。

講義日	科目	講師名
2008年 11. 22 (土)	「ニュー連合の役割・行動Ⅰ－自分の役割・行動」	古賀伸明 連合事務局長 高木郁朗 日本女子大学名誉教授/ILEC理事
11. 23 (日)	「アサーティブ・トレーニング」 「労働運動の歴史」 ★ゼミナールⅠ（すべてのゼミ）	森田汐生 アサーティブジャパン代表理事 高木郁朗 日本女子大学名誉教授/ILEC理事 ゼミナール担当講師
11. 24 (月)	「現代社会保障論」 「景気後退下の仕事と暮らし」 ★ゼミナールⅡ（高木、中村、橋元、毛塚ゼミ）	駒村康平 慶應義塾大学教授 鈴木不二一 連合総研副所長 ゼミナール担当講師
11. 25 (火)	「少子高齢時代の暮らしの設計」 「労働法の基礎」 ★ゼミナールⅡ（大沢ゼミ）	堀越栄子 日本女子大学教授 野川 忍 東京学芸大学教授
11. 26 (水)	「日本経済のシステム変化と将来展望」 「現代福祉論」 ★ゼミナールⅢ（すべてのゼミ）	宮崎 徹 帝京平成大学専任講師 高木郁朗 日本女子大学名誉教授/ILEC理事 ゼミナール担当講師
11. 27 (木)	☆特別講義「政党と労働組合」 「現代政治論」 「現代経済・社会論」	加藤敏幸 参議院議員 中北浩爾 立教大学教授 井上定彦 鳥根県立大学教授



講義風景（高木郁朗教授）



グループ討議のようす

～ 第12期女性リーダー養成講座を東西で開催 ～

教育文化協会は、連合との共催で、単組の女性役員を対象に、「第12期女性リーダー養成講座」を東西両コース開催しました。東日本コースでは、12月5日(金)～6日(土)に山形県上山市において14名が、西日本コースでは、12月19日(金)～20日(土)に大阪府豊中市において40名が受講しました。

本講座には「地方連合会女性リーダー養成講座」に参加した地方連合会の受講生も助言者として参加し、各受講生は各職場における連合「第3次男女平等参画推進計画」の取り組みの具体化をめざして、実践的な発言力・企画力を身につけるため、トレーニングとグループワークを中心に、2日間にわたり学習しました。

【東日本コース in山形】



◆◆◆宮下佳子連合中央執行委員の基礎講座「私と組合活動」◆◆◆

組合活動に携わるきっかけ、現在の全日空労働組合の活動と、組合活動に対する熱い思いをお話いただき、アドバイスをいただきました。

◆グループディスカッション&グループワーク◆

「女性役員をふやすために」をテーマに、3グループにわかれ、ディスカッションしました。



感想から

- ・大きさも業種も違う、組合の方々の考えや悩みなど、様々な情報を共有できたことがよかった。今後の活動に活かしたい。
- ・他の組合の方々から、アドバイスをもらえ、よい刺激になった。

【西日本コース in大阪】



感想から

- ・自身のコミュニケーションパターンを知り、相手と自己を尊重し率直に話し合う表現方法を学べ、とてもためになった。
- ・「自分も相手も尊重した主張」と「権利行使も自らの責任で」について改めて学習でき、自分を見つめ直すことができた。

◆アサーティブトレーニング◆



◆◆◆井上久美枝連合中央執行委員の基礎講座「私と労働組合」◆◆◆

組合員から現在の専従役員にいたるまでのお話とともに、「皆さんが主人公！男女平等参画で社会も組合も大きく変えていきましょう！」との熱いメッセージをいただきました。

社会保障制度の基礎を集中的に学習～第6回連合「社会保障講座」(基礎コース)開催

教育文化協会は、12月12日(金)～13日(土)連合会議室において、連合と共催で第6回連合「社会保障講座」(基礎コース)を開催し、37名が受講しました。講座では、社会保障制度の歴史と役割にはじまり、年金・医療・介護など各制度の役割やしくみ、医療費還付請求の計算実務、今後の社会保障制度改革の動向について学習し、大変充実した2日間となりました。

<参加者より>

- ・社会保障制度を体系的に学習できた。
- ・社会保障制度の背景や経過を含め、基礎から理解できた。



～ 専門講座 これからの開催予定 ～

日 程	講 座 名	場 所
1月29日(木)～30日(金) (募集中※)	第7回社会保障講座／基礎コース	大阪
2月13日(金)～14日(土) (募集中※)	第2回労働法講座／基礎コース	東京
5月 (日程は未定)	第15回中小企業経営分析講座	東京
6月 (日程は未定)	第3回労働法講座／基礎コース	東京

※ 受講締め切りは第7回社会保障講座が1/19 (月)、第2回労働法講座が1/20 (火) です

第6回連合・ILEC 幸せさがし文化展 —働く仲間とその家族の公募展—

～ 3月2日より募集開始！

第6回「連合・ILEC 幸せさがし文化展」は、日頃から創作活動に励む、働く仲間とその家族が作品を発表する場として、今回連合20周年記念事業の一環として取り組みます。労働組合関係の方だけでなく、一般の方からのご応募もお待ちしております。

【募集期間】 2009年3月2日(月)～5月29日(金) (当日消印有効)

【募集作品】 絵画・写真・書道・俳句・川柳の5部門
(応募作品は未発表・オリジナルの作品に限る)

【各 賞】 連合大賞・ILEC大賞・連合20周年記念特別賞
賞状・賞金 各10万円 (絵画・写真・書道)
各5万円 (俳句・川柳)
特別審査員賞 (各部門初応募者の中から選考)
賞状・図書券
その他 (佳作、努力賞、奨励賞等)

【入選者発表】 2009年7月31日(金)

【入賞作品発表】 2009年10月8日(木)～9日(金)・連合定期大会にて、表彰を行います。
入賞作品は、連合定期大会期間中、東京・有楽町「東京国際フォーラムホールA 1Fロビー」に展示します。



※募集内容の詳細等は、ILECホームページに掲載しています (応募票・作品票もホームページからダウンロードできます。 URL <http://www.rengo-ilec.or.jp>)。

編集後記

冒頭の理事長挨拶にもありますように、厳しい年の始まりとなりそうな2009年です。こんな時代だからこそ、求められるのは何をにおいても有用な人材の育成であり、ILECも少しでもその一助となりますよう、本年も教育・文化・出版事業に邁進していく所存です。

昨年11月4日付けで金沢紀和子さん (アシスタント・ディレクター) が事務局に加わり、より充実した体制となりました。1年間どうぞよろしく願い申し上げます。

この印刷物は再生紙を使用しています。